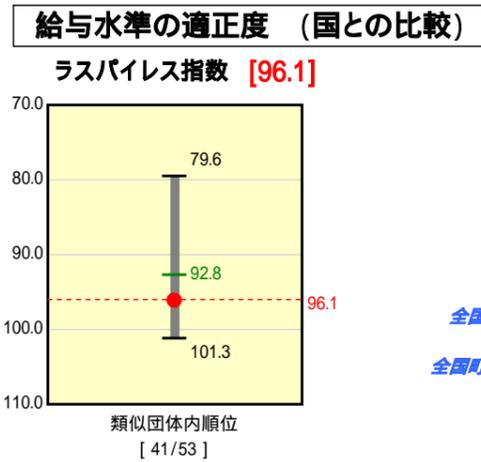
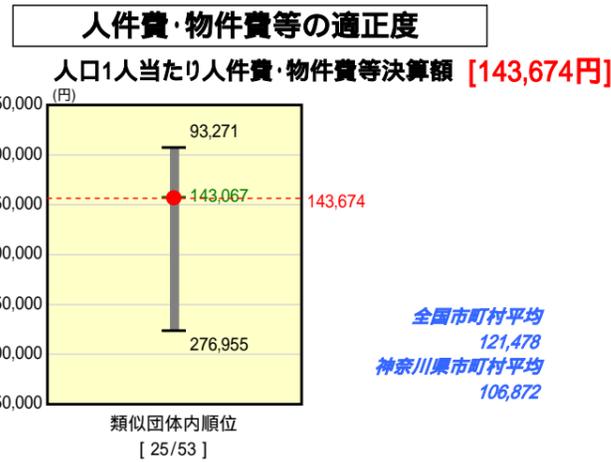
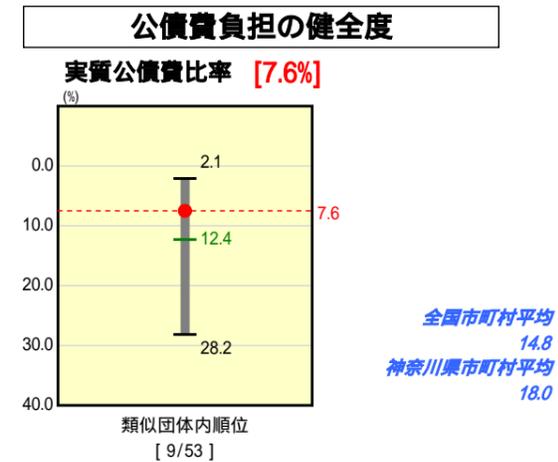
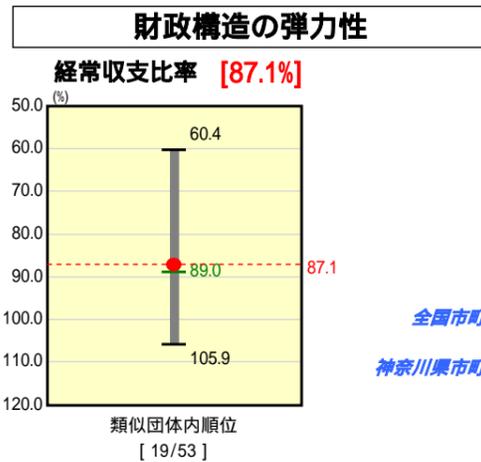
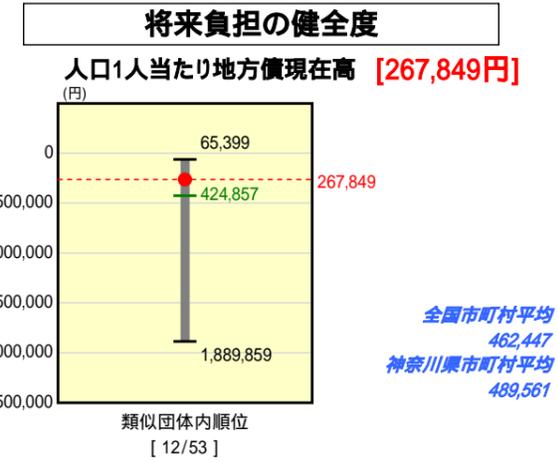
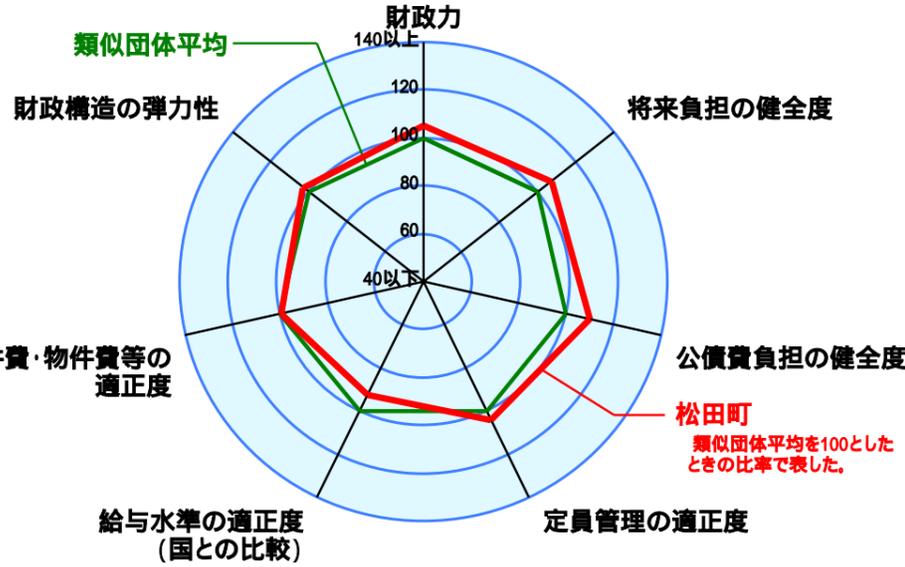
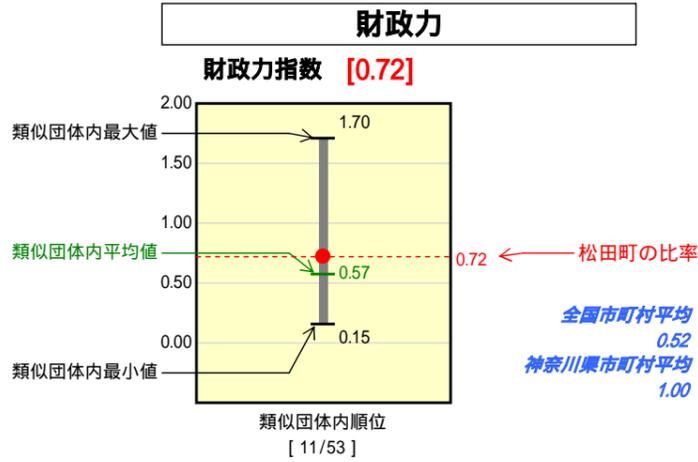


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

神奈川県 松田町

人口	12,592人	(H18.3.31現在)
面積	37.75 km ²	
歳入総額	5,012,871千円	
歳出総額	4,827,200千円	
実質収支	157,643千円	



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】 町税の微増等により、近年わずかずつながら上昇し、類似団体での平均値を上回っている。歳出全体の抑制や、収入確保策等により現在の水準を維持もしくは上昇させられるよう努める。

【経常収支比率】 類似団体内の平均値を若干下回ってはいるものの、地方交付税や臨時財政対策債などの減額に加え、福祉関係経費(扶助費)の増額などにより年々硬直化が進んでいる。定員適正化計画による職員の削減(5年間で4.8%減)等を実施することにより義務的経費の抑制に努め、弾力性の悪化に歯止めをかける。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 人件費・物件費等の決算額については類似団体内の平均値とほぼ同じとなっているが、今後は定員適正化計画による職員の削減(5年間で4.8%減)等を実施し、さらなる抑制を図る。

【人口1人当たり地方債現在高】 今後、起債償還のピークを迎えること、また、年々人口が減少していることなどを勘案すると、数値は上昇するものと見込まれる。現在、類似団体間における平均値を下回ることができているため、今後も大幅な上昇を避け、水準を上回ることがないよう適切な町債管理と人口増加等を図る。

【実質公債費比率】 類似団体平均をかなり下回ってはいるものの、地方交付税の減などに加え、臨時財政対策債や庁舎建設による起債の償還が始まるため、今後は悪化が予測される。起債償還のピークは平成21年度になると予測されるが、引き続き地方債の発行が続く見込みであるため、適切な町債管理を行うことで数値の急激な上昇を抑えるよう努める。

【人口1,000人当たり職員数】 人口は、年々減少する傾向にあることから、定員適正化計画に基づく、定年退職の不補充、計画的な採用、各施設の管理方法の見直し等により、今後も引き続き職員数の削減を図る。

【ラスパイレス指数】 類似団体の中で若干高い水準にあるが、平成17年度からの第3次行政改革に基づく定員適正化計画による職員の削減(5年間で4.8%減)等をはじめ、常勤特別職の報酬や職員給与の適正化等を実施し、引き続き人件費の抑制に努める。